TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★★☆☆ ふつう　308語

The Ass and the Lap Dog

ロバと小犬

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Jill Engle

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　ご主人にかわいがられる小犬がうらやましいロバ。自分も犬のまねをすれば、と家の中にとびこんでいきますが……。



There was once an Ass whose Master also owned a Lap Dog. This Dog was a favorite and received many a pat and kind word from his Master, as well as choice bits from his plate. Every day the Dog would run to meet the Master, frisking playfully about and leaping up to lick his hands and face.

All this the Ass saw with much discontent. Though he was well fed, he had much work to do; besides, the Master hardly ever took any notice of him.

Now the jealous Ass got it into his silly head that all he had to do to win his Master's favor was to act like the Dog. So one day he left his stable and clattered eagerly into the house.

Finding his Master seated at the dinner table, he kicked up his heels and, with a loud bray, pranced giddily around the table, upsetting it as he did so. Then he planted his forefeet on his Master's knees and rolled out his tongue to lick the Master's face, as he had seen the Dog do. But his weight upset the chair, and Ass and man rolled over together in the pile of broken dishes from the table.

The Master was much alarmed at the strange behavior of the Ass, and calling for help, soon attracted the attention of the servants. When they saw the danger the Master was in from the clumsy beast, they set upon the Ass and drove him with kicks and blows back to the stable. There they left him to mourn the foolishness that had brought him nothing but a sound beating.

Behavior that is regarded as agreeable in one is very rude and impertinent in another.

> **Do not try to gain favor by acting in a way that is contrary to your own nature and character.**

和訳 ロバと小犬（The Ass and the Lap Dog）

むかし、あるロバがいました。ロバのご主人は、小さな犬もかっていました。この犬はご主人のお気に入りで、なでてもらったり、やさしい言葉をかけてもらったり、お皿からおいしいものを分けてもらったりしていました。犬は毎日ご主人をむかえに走っていき、楽しそうにはねまわっては、とびついて手や顔をなめました。

ロバはそれを見て、ちっともおもしろくありませんでした。ロバはえさはたっぷりもらっていましたが、仕事がたくさんありました。それに、ご主人はロバのことをほとんど気にかけてくれません。

そこで、やきもちをやいたロバは、ばかなことを思いつきました。犬のまねをしさえすれば、ご主人にかわいがってもらえる、と思ったのです。ある日、ロバは小屋を出て、ぱかぱかと音をたてながら、はりきって家の中に入っていきました。

ご主人が夕ごはんのテーブルについているのを見つけると、ロバは後ろ足をけり上げ、大きな声でヒーンと鳴いて、テーブルのまわりをうかれてはねまわりました。そのひょうしにテーブルはひっくりかえってしまいました。それからロバは、犬がしていたように、前足をご主人のひざにのせ、舌をべろんと出して、ご主人の顔をなめようとしました。けれども、ロバの重さでいすがたおれ、ロバとご主人はいっしょに、こわれたお皿の山の中にころがりました。

ご主人はロバのおかしなふるまいにとてもおどろき、助けをよびました。すぐに家で働く人たちがかけつけました。人たちは、ご主人がぶきようなロバのせいであぶない目にあっているのを見ると、ロバにとびかかり、けったりたたいたりして小屋へ追いかえしました。ロバは小屋にとりのこされ、ひどくぶたれただけに終わった自分のおろかさを、なげきかなしみました。

あるものがすればかわいいとされることも、ほかのものがすると、とても失礼でずうずうしいことになるのです。

> **自分らしさに合わないことをして、気に入られようとしてはいけません。**

たんご と クイズ ロバと小犬

Ass	ロバ	**Dog**	犬	**plate**	お皿
stable	（ウマやロバの）小屋	**table**	テーブル	**chair**	いす
jealous	やきもちをやいた				

Q1 ロバがうらやましく思ったのはだれ？

① 小犬　② ネコ　③ ウマ

Q2 ロバはご主人に気に入られようとして、なにをした？

① 歌をうたった　② 重い荷物をはこんだ　③ 犬のまねをした

Q3 さいごにロバはどうなった？

① ほめられた　② たたかれて小屋へ追いかえされた　③ 家の中でねむった

こたえ

Q1 ① 小犬はご主人にかわいがられ、おいしいものももらえるので、ロバはそれを見ておもしろくなかったのです。

Q2 ③ 犬がするように、前足をご主人のひざにのせて顔をなめようとしました。でも、いすがたおれてしまいました。

Q3 ② 家で働く人たちがかけつけて、ロバをけったりたたいたりして、小屋へ追いかえしてしまいました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。

挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）

朗読（Web版）：Jill Engle（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）

和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。